

<b>科目番号</b>	21-19		<b>科目名</b>	機能材料論			
大学名	佐世保工業高等専門学校		担当教員	須田 義昭 (電気電子工学科 教授)			
単位数	2単位	教養・専門の別	専門	開講形態	既存科目・後期		
開講期間	平成23年10月3日(月)～平成24年3月1日(木)(9月上旬頃に決定予定)						
開講時間	時分～時分(100分)「毎週 曜日」		授業定員	30人	うち単位互換定員	5人	
履修年次	3年次以上	実習費等	なし	選考方法	書類選考		
試験・評価方法	輪講時の発表方法、質問による内容理解の程度、レポート50%、中間試験50%により評価し、60点以上を合格			開講場所	本校キャンパス		
その他の特記事項							
連絡先	佐世保工業高等専門学校 学生課教育支援係 TEL 0956-34-8419 FAX 0956-34-8425						

**科目内容**

高機能性薄膜材料とその応用及び薄膜形成法について学習する。特に新素材開発法として最近注目されているパルスレーザポジション(PLD)法について詳しく学ぶ。

<b>科目番号</b>	21-20		<b>科目名</b>	環境論			
大学名	佐世保工業高等専門学校		担当教員	下野 次男 (物質工学科 教授)			
単位数	2単位	教養・専門の別	専門	開講形態	既存科目・後期		
開講期間	平成23年10月3日(月)～平成24年3月1日(木)(9月上旬頃に決定予定)						
開講時間	時分～時分(100分)「毎週 曜日」		授業定員	30人	うち単位互換定員	5人	
履修年次	3年次以上	実習費等	なし	選考方法	書類選考		
試験・評価方法	定期試験、発表・討論、および課題レポートにより評価(配点割合6:2:2)60点以上を合格			開講場所	本校キャンパス		
その他の特記事項							
連絡先	佐世保工業高等専門学校 学生課教育支援係 TEL 0956-34-8419 FAX 0956-34-8425						

**科目内容**

さまざまな地球環境問題の原因、現状、対策について学習して環境問題に関する理解を深め、技術者としてどう対処すべきか自分で判断できる知識と能力を涵養する。

<b>科目番号</b>	21-21		<b>科目名</b>	メカトロニクス工学			
大学名	佐世保工業高等専門学校		担当教員	川下 智幸 (電子制御工学科 教授)			
単位数	2単位	教養・専門の別	専門	開講形態	既存科目・後期		
開講期間	平成23年10月3日(月)～平成24年3月1日(木)(9月上旬頃に決定予定)						
開講時間	時分～時分(100分)「毎週 曜日」		授業定員	30人	うち単位互換定員	5人	
履修年次	3年次以上	実習費等	なし	選考方法	書類選考		
試験・評価方法	中間・定期試験(2回)80%、演習およびレポート20%により評価、60点以上を合格			開講場所	本校キャンパス		
その他の特記事項							
連絡先	佐世保工業高等専門学校 学生課教育支援係 TEL 0956-34-8419 FAX 0956-34-8425						

**科目内容**

制御工学の基本的理論を確認し、ロボット、家電、情報機器、各種自動化機器に実際に用いられているメカトロニクス製品における精密サーボモータの制御技術(各要素技術も含み)について学修する。

<b>科目番号</b>	<b>21-22</b>	<b>科目名</b>	<b>情報基礎理論</b>
-------------	--------------	------------	---------------

大 学 名	佐世保工業高等専門学校	担 当 教 員	長嶋 豊 (電気電子工学科 教授)
単 位 数	2単位	教養・専門の別	専 門
開 講 期 間	平成 23 年 10 月 3 日 (月) ~平成 24 年 3 月 1 日 (木) (9月上旬頃に決定予定)	開 講 形 態	既存科目・後期
開 講 時 間	時 分~ 時 分 (100分)「毎週 曜日」	授 業 定 員	30 人
履 修 年 次	3 年次以上	実 習 費 等	な し
選 考 方 法	書類選考	開 講 場 所	本校キャンパス
試験・評価方法	2回の定期試験80%、プログラム演習レポート20%で評価、60点以上を合格		
その他の特記事項			
連 絡 先	佐世保工業高等専門学校 学生課教育支援係 TEL 0956-34-8419 FAX 0956-34-8425		

### 科目内容

<p>インターネット時代にWindows系コンピュータでのソフトウェア開発に多く用いられているVisual Basicを用いたプログラミングの手法を学び、その応用として、各種計測制御プログラムの制作実習を行う。</p>